

阿部幸正



表彰理由：

2001年5月、稲門建築会50周年記念事業の一環として開催された「建築に挑む図面表現の美・旧帝国ホテル実測図面展」において阿部幸正氏はその中心的役割を果たされた。その発端となった「稲門建築ライブラリー」に納める資料収集の際、故明石信道名誉教授が晩年に心血を注がれた旧帝国ホテルの実測図面を発見された。阿部氏は損傷のひどいその図面が持つ旧帝国ホテルの最終図面としての重要性を説いて回り、募金活動を行いながら図面の修復に力を注がれた。その一部が現帝国ホテルロビーの一画で行われた「図面展」で展示され、4000人を超える来場者にライト建築の素晴らしさ、明石名誉教授の功績を伝えることとなった。

その後修復を終えた全図面は明石家から早稲田大学中央図書館に寄贈され、申請のうえ閲覧できることになった。こうした努力の中から明石名誉教授著『旧帝国ホテルの実証的研究』が再編集され、『フランク・ロイド・ライトの帝国ホテル』（2004年、建築資料研究社）として刊行されるに及んだ。こうした阿部氏の誠実な活動によって稲門建築会の活動に力強い広がりを与えることとなった。

◎経歴：

1946年 東京都生まれ

1965年 早稲田大学工業高等学校建築科卒業

1968年 早稲田大学産業技術専修学校建築科卒業

1967年～1971年 早稲田大学理工学部建築学科池原研究室
人助手

1974年 F.L.ライトの自由学園明日館の実測および実測図作成に参加

1975年 東京芸術大学大学院美術研究科建築設計専攻修了

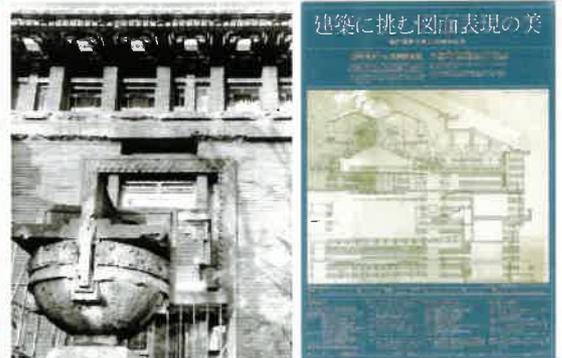
同 (株)坂倉建築研究所入社

1981年～1987年 早稲田大学非常勤講師

1988年 (株)アトリエノーム設立

1998年～2002年 早稲田大学稲門建築会理事

2001年 稲門建築会50周年記念事業として「建築に挑む図面表現の美・旧帝国ホテル実測図面展」企画・展示



上右：帝国ホテル・東京で開かれた「図面展」ポスター

上左：ありし日の旧帝国ホテル外観部分

下：修復前の図面

左上：図面展会場

左下：修復後の図面（部分）

